

住宅ローン利用者の実態調査結果

<住宅ローン利用者調査（2024年10月調査）>

（概要）

I 調査の概要

2024年4月から9月までの間に実際に住宅ローンを利用して住宅を取得された方を対象に、利用した住宅ローンや金利リスクに対する意識等について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

（参考）調査実施時期：2024年10月31日～11月11日、回答数：1,419件

II 調査結果の主なポイント

<p.> は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 住宅ローン金利の見通し <p.19>

—住宅ローン利用者の6割以上が、今後1年間で住宅ローン金利は上昇すると予想—

「現状よりも上昇する」：62.9%（2024年4月調査比 +12.4%）

「ほとんど変わらない」：26.6%（2024年4月調査比 ▲10.5%）

「現状よりも低下する」：2.5%（2024年4月調査比 ▲0.2%）

「見当がつかない」：7.9%（2024年4月調査比 ▲1.8%）

2 利用した住宅ローンの金利タイプ <p.8>

—「変動型」が0.5ポイント、「全期間固定型」が1.0ポイント増加—

「変動型」：77.4%（2024年4月調査比 +0.5%）

「固定期間選択型」：13.5%（2024年4月調査比 ▲1.6%）

「全期間固定型」：9.0%（2024年4月調査比 +1.0%）

3 日本銀行の金融政策変更の影響 <p.17>

—約4割が「住宅ローン選択」に関して変化があったと回答—

<住宅ローン選択への影響>

「変化あり」：39.1% 「変化なし」：54.1%

（変化の内容）

「借入額を減らした」：5.4%

「変動金利タイプから固定金利タイプへ見直した」：5.0% 等

4 ペアローン・収入合算の利用 <p.10>

—約4割が「ペアローン」または「収入合算」を利用—

「ペアローンを利用した」：26.4%（2024年4月調査比 +3.6%）

「収入合算を利用した」：12.6%（2024年4月調査比 ▲2.8%）